

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 出雲市立国富小学校 ～

1. 概要

6月3日(金)、出雲市立国富小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。国富小学校の近くに国史跡国富中村古墳田和山遺跡があることから、午前中は県が実施する埴輪づくりなどの古代体験を行い、午後は出雲市文化財課による国富中村古墳の石室を見学する体験活動を企画しました。

当日は最初に、出雲市文化財課の職員から、国富地区からの出土品を紹介しながら、地域の歴史は遺跡、特に午後から現地見学する中村古墳について学びました。その後、埴輪や須恵器などについて、クイズ形式で学びました。古代体験は埴輪作りに挑戦しました。途中、粘土が板に貼りついて苦労する場面も見られましたが、みんな熱心に活動に取り組んでいました。

児童たちにとっては、クイズ形式で古代について学んだり、実際に古墳の中に入るという体験を通じて、身近な遺跡や地域の歴史について興味・関心を持つ契機になったと思われます。

2. 学習の様子



まず今日の全体の流れの説明から



「国富小の近くからはこんな弥生土器が出たよ



「Aが正解だと思う人は？」



「これが円筒埴輪です。古墳に並べられました」



「これ本物の埴輪？」 「さわってもいい？」



みんな一生懸命埴輪づくりに取り組んでいます！

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・本物の土器にさわられて嬉しかった
- ・昔の人は埴輪をどのような目的で作ったのか、いつできたのかを知りたい
- ・クイズが楽しかった。なぜなら古墳のことがよくわかったので、なるほどと思いながら聞けました
- ・今度は馬の埴輪とか円筒埴輪をつくってみたい
- ・クイズで、昔の人も水筒を使っていたことがわかってびっくりしました
- ・国富地区にいつから人が住んでいたのか知りたいです
- ・古墳から見つかった他のものも見てみたい
- ・中村古墳に埋められていた人が誰かを知りたいです
- ・今日古墳について色々わかり、古墳が好きになりました。どこにどんな古墳があるのか、もっと知りたいです

2) 担任の先生から…

- ・遺跡からの出土品を見せたり触れたりさせながら、地域のことを詳しく説明してもらい、子どもたちの興味関心を高めていくことができました
- ・アンケートの子どもたちの声を紹介するなどして、もっと広報を充実させればよいと思います
- ・事前に授業の流れや注意すべき点を教えていただいたことで見通しを持つことができ、大変助かりました

3) 埋文センターから…

今日の教室では、出雲市のご厚意により、校区内に所在する国史跡中村古墳の石室の見学も併せて行うことができました。

中村古墳の石室は、その保護のため滅多なことがない限り、見学することができません。そんな石室を見学できた国富小の皆さんが、少しでも地元の歴史や文化財について興味・関心を持ってもらえればうれしいです。今日の教室をきっかけに、将来考古学者を目指す人が出てくれるといいけどなあ…。